

資 料

歯科衛生士のスポーツ歯科に対する認識

山内六男¹⁾ 飯沼光生²⁾ 安村真一²⁾ 椋代寛之²⁾
田村康夫²⁾ 澤田季子¹⁾ 都尾元宣¹⁾ 高木幹正³⁾

Dental Hygienists' Knowledge of Sport Dentistry

YAMAUCHI MUTSUO¹⁾, INUMA MITSUO²⁾, YASUMURA SINICHI²⁾, MUKUDAI HIROYUKI²⁾,
TAMURA YASUO²⁾, SAWADA TOSHIKO¹⁾, MIYAO MOTONOBU¹⁾, TAKAGI MIKIMASA³⁾

歯科衛生士のスポーツ歯科に対する認識について調査した。

NPO 法人岐阜県歯科衛生士会に所属している歯科衛生士78名にアンケート調査を行った。アンケート内容は、スポーツ選手の口腔管理の競技能力への影響、マウスガードの認識、マウスガードの目的、マウスガードの装着経験、義務化競技種目、マウスガードの価格、などである。

実務年数は15.2±8.1年であった。

すべての者がスポーツ選手の口腔管理は競技能力へ影響すると答えており、スポーツ選手と歯科との関わりは重要だと認識していた。マウスガードは1名を除いて知っていた。マウスガードを見た者は52人いたが、実際に装着した者は10名であった。

マウスガードの情報を得た媒体は、テレビが最も多く、次いで講義、雑誌、ポスター、新聞が続いた。

マウスガードの目的については、多くは目的を理解していたが、顔面外傷予防と間違った答えも比較的多かった。脳しんとう予防に関してはもっとも回答数が少なかった。マウスガードの装着義務化競技種目では、ボクシング、ラグビー、アメリカンフットボールと答えた者が多かった。

マウスガードの価格は1万円が妥当だと答えた者が最も多かった。

以上の結果から、歯科衛生士はスポーツ歯科に関する知識はあるものの、正確な知識にはやや乏しいことがわかった。

キーワード：歯科衛生士、アンケート調査、スポーツ歯科、認識

Dental hygienists' knowledge of sport dentistry was investigated. A questionnaire survey was conducted with 78 oral hygienists belonging to NPO Gifu Dental Hygienists Association. The survey questions covered matters such as the number of years of clinical experience as a dental hygienist, influence of oral management of the athlete on ability for competition, knowledge about mouthguards, the purposes of mouthguards, experience of wearing mouthguards, sports that require the wearing of mouthguards, and the desired price for a mouthguard.

Clinical experience was 15.2 ± 8.1 years.

All respondents answered that an athlete's oral management affected their performance in a match. Of the respondents, 77 were aware of mouthguards; 52 had seen a mouthguard, but only ten had worn one.

今回の調査では、NPO 法人岐阜県歯科衛生士会の多大なご協力を得たとともに、岐阜歯科学会専門部会の補助を受けた。謹んで感謝の意を表す。

¹⁾朝日大学歯学部口腔機能修復学講座 歯科補綴学分野

²⁾朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野
501-0296 瑞穂市穂積1851

³⁾岐阜県スポーツ・健康づくり歯学協議会
500-8486 岐阜県岐阜市加納城南通1-18

¹⁾Department of Prosthodontics, Division of Oral Functional Science and Rehabilitation

Asahi University School of Dentistry

Hozumi 1851, Mizuho, Gifu 501-0296, Japan

²⁾Department of Pediatric Dentistry, Division of Oral Structure, Function and Development

Asahi University School of Dentistry

Hozumi 1851, Mizuho, Gifu 501-0296, Japan

³⁾Gifu Dental Conference of Sports and Health Promotion

Kanoujyouman-dori 1-18, Gifu, Gifu 500-8486, Japan
(平成25年3月25日受理)

Television was the most common medium by which information about mouthguards was obtained, followed by lectures, magazines, posters, and newspapers.

Most survey participants understood the purposes of wearing mouthguards. However, there were also a comparatively large number of incorrect answers. There were only a few replies indicating that one of the purposes is brain concussion prevention.

As for sports that required the wearing of a mouthguard, many survey participants responded with boxing, rugby football, and American football.

Virtually all respondents indicated that the desired price for a mouthguard was 10,000 yen.

These results show that dental hygienists' knowledge about sport dentistry is not exact.

Key words: dental hygienist, questionnaire survey, sports dentistry, knowledge

緒 言

我々の以前の調査においてスポーツ選手および監督者のスポーツ歯科に対する認識はそれ程高くないことがわかっている¹⁾。また、歯科衛生士学校生における調査でも、スポーツ歯科に対する認識はそれほど高くないのが現状である²⁾。そこで今回は、歯科臨床に携わっている歯科衛生士がスポーツ歯科をどの程度認識しているかについて調査を行った。

調査方法

NPO 法人岐阜県歯科衛生士会に所属している歯科衛生士78名にアンケート調査を行った。アンケート内容は、実務年数、勤務先、スポーツ選手の口腔管理の競技能力への影響、マウスガードの認識、マウスガードの目的、マウスガードの装着経験、装着マウスガード義務化競技種目、マウスガードの価格、などである(表1)。

表1 アンケート調査項目

以下の質問にお答え下さい。	
1. 実務年数	年
2. 現在のお勤め先は	開業医・国公立病院・私立病院・休職中・その他()
3. スポーツ選手の口腔管理は、競技能力に影響すると思いますか。	はい・いいえ
4. マウスガード(マウスピース、マウスプロテクター)を知っていますか。	はい・いいえ
5. マウスガードの目的は以下のどれだと思いますか。複数回答可	顔面外傷予防・口唇外傷予防・歯の破折予防・歯の脱臼予防・顎関節の保護・脳しんとう予防・その他(具体的に記入して下さい)
6. マウスガードをなにで知りましたか。複数回答可	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・ポスター・講義・友人・家族・クラブの指導者・インターネット・その他(具体的に記入して下さい)
7. 実際にマウスガードをみたことがありますか。	はい・いいえ
8. 実際にマウスガードをはめたことがありますか。	はい・いいえ
9. マウスガードをつけることが義務であるスポーツどれですか。複数回答可	ラグビー・アメリカンフットボール・ボクシング・野球・スケート・スキー・テニス・ラクロス・サッカー・少林寺拳法・空手・柔道・アイスホッケー・バスケットボール・グランドホッケー
10. マウスガードははめる場合の費用はいくらぐらいだと思いますか。	1千円・3千円・5千円・8千円・1万円・2万円・2万円以上

ご協力有り難うございました。

結 果

実務年数は15.2±8.1年であった。休職者は約10%であった。就職先では、その他が最も多かった(表2)。

すべての者がスポーツ選手の口腔管理は競技能力へ影響すると答えていた。

表2 歯科衛生士の就職先

就職先	割合
開業医	20名(25.6%)
私立病院	15名(19.2%)
国公立病院	5名(6.4%)
休職中	7名(9.0%)
その他	31名(39.7%)

マウスガードは1名を除いて知っていた。マウスガードを見た者は52人いたが、実際に装着した者は10名と少なかった。

マウスガードを何で知ったかとの質問では、テレビで得たとの答えが最も多く、次いで講義、雑誌、ポスター、新聞が続いた。その他の中では勤務先が10名と多かった(表3)。

マウスガードの目的については、多くは目的を理解していたが、顔面外傷予防と間違った答えも比較的多かった。脳しんとう予防に関しては最も回答数が少なかった。その他として、力が入るとの答えもあった(表4)。

表3 マウスガードの情報を得た媒体

媒体	割合
テレビ	26名
講義	18名
雑誌	17名
ポスター	10名
新聞	9名
友人	4名
クラブ	2名
ラジオ・家族・インターネット	3名
その他	13名

表4 マウスガードの目的

目的	割合
歯の破折予防	74名(27.5%)
歯の脱臼予防	65名(24.2%)
顎関節の保護	53名(19.7%)
口唇外傷予防	44名(16.4%)
顔面外傷予防	24名(8.9%)
脳しんとう予防	8名(3.0%)
その他	1名(0.4%)

表5 マウスガード装着義務化種目

競技種目	割合
ボクシング	74名
ラグビーフットボール	56名
アメリカンフットボール	55名
アイスホッケー	31名
グランドホッケー	19名
空手	14名
少林寺	11名
ラクロス	10名
サッカー	8名
スキー・柔道	7名
野球・スケート	5名
剣道	4名
テニス	3名

表6 適正と思うマウスガード料金

価格	割合
千円	3名(3.9%)
3千円	8名(10.3%)
4千円	20名(25.6%)
8千円	8名(10.3%)
1万円	28名(35.9%)
2万円	8名(10.3%)
2万円以上	3名(3.8%)

マウスガードの装着義務競技種目では、ボクシング、ラグビー、アメリカンフットボールと答えた者が多かった(表5)。

マウスガードの価格は1万円と答えた者が最も多く、次いで5千円であった(表6)。

考 察

アンケートに回答した歯科衛生士の就職先では、その他が最も多かったが、パートやアルバイトなどをここに分類した可能性もあり、こちらの意図とは異なった回答とも考えられる。休職者は1割程度であり、今

回のアンケートは現場で働いている歯科衛生士のスポーツ歯科に対する知識を表していると思われる。

すべての歯科衛生士がスポーツ選手の口腔管理は競技能力へ影響すると答えており、スポーツ選手と歯科との関わりは重要だと認識していた。

マウスガードを知らないと答えた歯科衛生士は、1名であり実務年数が2年であったことから経験年数の不足が原因しているのかもしれない。

岐阜県スポーツ・健康づくり歯学協議会では、各歯科医院へマウスガード普及啓発のためのポスターを平成16年に配布したが³⁾、マウスガードの情報を得た媒体ではテレビが最も多かったことから、ポスターはそれほど見られていないことがわかった。

マウスガードの目的については、多くは目的を理解していたが、顔面外傷予防と間違った答えも比較的多かった。脳しんとう予防に関しては最も回答数が少なく、マウスガードの正しい目的について更なる啓発が必要と思われる。

マウスガードの装着義務化競技種目では、ボクシング、ラグビー、アメリカンフットボールと答えた者が多く、義務化されているラクロスと答えた者は10名と少なく、先の目的と同じく正確な知識には乏しいことが示唆された。歯科衛生士学校生徒に対してのスポーツ歯科に関する講義も行われているようであり²⁾、全国レベルで実施されるようになれば、今後はスポーツ歯科に関する正確な知識を持つようになるものと思われる。

マウスガードの価格は1万円と答えた者が最も多く、次いで5千円であった。以前の高中生スポーツ選手の調査では3千円以下と答えたものが多かった⁴⁾ことから、実際の歯科医療現場の経験者ではマウスガードの製作費用を考慮した回答をしたのではないと思われる。

結 論

歯科衛生士78名に行ったスポーツ歯科に関するアンケート調査から、歯科衛生士はスポーツ歯科の知識はあるものの、正確な知識にはやや乏しいことがわかった。

文 献

- 1) 大宮隆志, 山田耕弘, 都尾元宣, 山内六男, 長澤 亨. 高校総体参加選手及び指導者を対象としたスポーツ歯科に関する調査. スポーツ歯学. 2003; 6: 84.
- 2) 前田芳信, 津川 剛, 三浦治郎, 木下可子. 歯科衛生士教育におけるスポーツ歯学の導入. スポーツ歯学. 2006; 10: 35-38.

- 3) 足立正孝, 松村康正, 岡田東洋志, 高木幹正, 山内六男, 都尾元宣, 山本宏治, 飯沼光生, 田村康夫, 高井良招. 岐阜県スポーツ・健康づくり歯学協議会会員におけるマウスガード製作の現状. 岐歯学誌. 2009 ; 36 : 39-42.
- 4) 山内六男, 服部捷哉, 坂井 剛, 平岩清貴. 高校女子ホッケー選手におけるマウスガードの調査. スポーツ歯学. 2001 ; 4 : 61.
-